

<講師プロフィール>



☆久保 敬(くぼ たかし)さん
1961年生まれ。1985年大阪市立小学校教員。2022年3月末、木川南小学校長を最後に定年退職。2022年4月に「フツの校長、市長に直訴！」(解放出版社)を出版。現在、近畿大学非常勤講師、公益社団法人全国人権教育研究協議会事務局員、特定非営利活動法人 School Voice Project 理事、一般社団法人ひとことつむぐ理事。2008年より月刊誌「ヒューマンライツ」(編集発行:一般社団法人部落解放・人権研究所)に4コマまんが「ガッツせんべい」を連載。お笑いコンビ「かまいたち」濱家隆一さんの小学校時の担任であったことでも知られる。



☆有坂 栄康(ありさかひでやす)さん
1972年生まれ。長野市立東条小学校にて教員生活をスタート。安曇野市立豊科北中学校教頭だった2016年12月ALS(筋萎縮性側索硬化症)を発症。佐久市立高瀬小学校教頭を務めた後、2022年8月に退職。現在自宅療養をしながらSNS等にて闘病生活の様子、教諭時代の記録を基にした命のメッセージを発信中。絵本集めが趣味。



「命の授業」『ピンクの牛の夢を見た』の<筆者ARIのプロフィール>より

車いすを使っている 有坂栄康さんより

わたしは、学校に勤めていた時に、ALS という身体の筋肉が動かなくなっていく病気になりました。まだこの病気を治す薬はありません。少しずつ食べることができなくなり、話すこともできなくなりました。手足も動かなくなり、歩くことや走ることもできなくなり、今は車いすを使って生活しています。

歩くことはできませんが、車いすを使って皆さんと同じようにいろいろなところにお出かけをして、景色をながめたり買い物を楽しんだりしたいと思っています。街には、車いすでも進める階段代わりのスロープがあったり、車いすのまま入れる大きなトイレがあったりするので、ヘルパーさんの手を借りながら出かけることができます。

しかし、残念なこと、いろいろなどころ全てには出かけることはできません。道がデコボコで段差があったり、じゃり道で車いすでは進めなかったりすることもあります。スロープがなかったり、入口や通路がせまかったりして進めないこともあります。進むことができても、小さな道のデコボコでとてもつかれます。

街は障がい者にとってまだまだ不便で不自由です。わたしは、安心安全でいつでもどこへでも気軽に出かけられる日を待ち望んでいます。障がい者も皆さんと同じように楽しくお出かけをしたいことを教えてください。そして、そんな障がい者の願いを感じながら街を見つめてほしいと思います。

<あけぼの小学生中学年向け6訂版より>



第47回長野県同和教育研究大会 ご案内
(第二次案内)



(写真は、人権教育副読本「あけぼの」掲載教材より)

期日 2024年9月19日(木)

会場 長野県総合教育センター (〒399-0711 塩尻市片丘南唐沢 6342-4)

参加資料代 2,000円

人権同和教育の推進のため、識者の講演を聴くとともに、県内の実践に学ぶ県同和教育研究大会ですが、本年度は、2008年度以来、16年ぶりの終日開催とし、お二人の講師をお招きして、今後の人権教育のこと、大切な人権課題について、じっくり学ぶ機会としたいと考えております。また、同和問題を自分事として考える取組について、長野県教育委員会及び県内中学校の実践から考え合います。

多くの皆様にご参加いただきますようご案内いたします。

長野県同和教育推進協議会会長(佐久市立中込小学校長) 白鳥 貴文

主催:長野県同和教育推進協議会 共催:長野県教育委員会 後援:長野県